

使っている花 ■ アンズリウム(ルミナ、マキシマビオレッタ)シースターファン、イグサ、シロシマウチワ

8月
August



アンズリウム

花言葉

情熱／恋にもだえる心

異国情緒たどようモロッカンスタイル
舞い咲く踊り子のように魅惑的に飾って

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- 花(仏炎苞)に傷がないものを選びましょう。
- バクテリアの影響を受けにくいので、アンズリウムだけでいける場合は頻繁に水替える必要がなく、手間のかからない花です。
- 低温に弱いので、エアコンの風などに直接当たらないよう気をつけましょう。
- 湿度の高い地域に生息する植物なので、ときどき霧吹きをするとよいでしょう。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ①大き目のトレーの上にガラスの器を複数並べ、それぞれに水を入れます。
- ②扇のようなシースターファンを入れ、次にアンズリウムを高低差をつけながらリズムカルにいけていきます。
- ③最後にイグサを数本飛ばすようにあしらいます。シロシマウチワ(アンズリウムの葉)のような肉厚の小さな葉は、グラスの水に沈めるだけで涼しげなインテリアに。ぜひお試しを！

ハートの花をモロッコ風に

熱帯を代表するサトイモ科の植物。エナメル質の部分は仏炎苞、中心の棒状は小さな花が集まる肉穂花序(ノーズ)といいます。シックな濃色や複色系、苞とノーズのコントラストが美しいもの、アレンジしやすいコンパクトサイズの品種が人気。ハワイでは“Heart of Hawaii”と親しまれ、大切な人に贈る愛の花。部屋に飾ると恋愛運や結婚運がアップするとか！？



使っている花 ■ モカラ(タンガリン)、
アランセラ(アンブラック)、モンステ
ラ、ドラセナ



8月
August



モカラ

花言葉

優美／気品

濃密な南国の色を重ねて
ミッドサマーのインテリアに

プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- モカラはランの中でも特にエチレングスが苦手な部類。果物や、タバコ・線香の煙などの近くに置かない方が長く楽しめます。
- 樹液で水が汚れて花持ちが悪くなるので、こまめに水替えをするとよいでしょう。
- 全体に元気がない場合は、茎を切り戻してから深めの水に花ごと沈めてみてください。30分ほどでシャキッとします。

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ① ボウル状の器に水をはります。自在に曲がるワイヤーを適当に丸めて器に沈め、花留めにするとよいでしょう。モカラやアランセラなどのランはよく切れるハサミで茎を斜めにカットします。
- ② モンステラなどの大き目の葉を1〜2枚器の口元にあしらひ、葉の上に花がのるように数本のモカラをいけます。
- ③ 器の手前の口元がスカスカしないよう、短めにカットしたモカラやアランセラをさらにプラスします。最後、アクセントにアランセラを長めにあしらいましょう。

異国を旅するように飾って

バンダ属、アラクニス属、アスコセントラム属の3種のランの長所を活かして育種された人工交配種で、アジアンオーキッドの集大成。南国リゾートを彷彿させるトロピカルな色彩、暑い時期でも花持ち抜群な点も魅力です。タイやマレーシアからの輸入品がほとんどで、一年中流通していますが、人気が高まる盛夏に出荷のピークを迎えます。



使っている花 ■ グズマニア(オレンジード、マルジャン)、ヘリコニア(アンドロメダ)、ドラセナ

8月
August



グズマニア

花言葉

理想の夫婦／情熱

熱帯雨林のトロピカルカラー
アマゾンの冒険気分を楽しんで

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- 葉の先が焼けていない綺麗なものを選びましょう。
- 樹液により水が汚れやすいので、水替えはこまめにしましょう。切り花栄養剤を使用した場合は3日に一度、使用しない場合は毎日水替えすると長く楽しめます。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ①少し高さのある器を選びます。水を入れ、切り花栄養剤を適量加えます。
- ②ドラセナの葉を入れ、グズマニア2本をやや高低差をつけていけます。グズマニアは直立させずちょっと手間に傾けると、正面から見た際に華やかです。
- ③グズマニアの背後にヘリコニアをプラス、美しいヘリコニアの葉はいっしょにいきましょう。

鮮やかなアナナスで南国ムード

ルーツは熱帯アメリカの森に生息する着生植物。パイナップル科の花で、主に観葉植物として人気です。切り花で流通するグズマニアは主にフィリピンから輸入され、花に見えるのは苞で、鮮やかなトロピカルカラーが魅力です。アンズリウムやラン同様に日持ちがよいので、夏のインテリアフラワーとしておすすめ！

Guzmania



使っている花 ■ ストレリチア、ロシアンオリーブ、アランダ（チャックワンブルー）

8月
August



ストレリチア

花言葉

気取った恋／輝かしい未来

バード・オブ・パラダイス
南国に棲む極楽鳥の美しい飾り羽

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- クチバシのようにとがった花先が傷んでいないものを選びましょう。
- 飾る際は切り戻しをしましょう。
- 切り花栄養剤を使用し、額の中に隠れている花が出てきやすいようにします。
- 花は乾燥に弱いので、霧吹きをかけるとういでしょう。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ①ストレチアは花も大きく茎も太く1本が重たいので、いけても倒れない大きめの花器を用意します。
- ②器に水と適量の切り花栄養剤を入れ、複数本のストレチアを高低差をつけながらいけます。
- ③ロシアンオリーブの枝を器の口元や花の合間にあしらいます。ストレチアの花に小さく宿るパープルを繰り返すように、パープルのランを並べて飾りました。

昂然と咲き誇る極楽鳥花

南アフリカ原産、バショウ科の植物。英名で“Bird of paradise”と称され、ユニークで堂々たるシルエットが美しく、一種で飾っても絵になります。その華やかさから迎春のいけ込みやお祝い花の花材として親しまれてきました。鉢物も人気で、丸い葉っぱを上向きに広げることから、風水ではリビングなどに飾ると運気を高めるといわれています。

